

青南幼稚園より

3月号

平成27年 2月 27日 園長 西澤 尚子

春に向かう喜び

まだ寒さが厳しい日もありますが、園庭の梅のほころびや木々の芽吹きに春が近付いてきたことを感じます。子どもたちも、もうすぐ進級、進学することへの期待が、いろいろなことへの意欲につながっているのを感じます。

2月14日に生活発表会がありました。その後の生活にも生きる会になりました。5歳児は、見てもらうことを意識した取組が、その後も目的を意識した生活（ひな人形作り、修了に向かう活動など）につながっています。4歳児は見せたい気持ちと恥ずかしさが混じりながらも、のびのびと楽しんで表現し、その後の生活に自信のようなものが見られます。3歳児は、先生や友達みんなということが楽しく、それぞれの表現が受け止められる安心感のもとに生活を楽しめるようになりました。生活発表会後の子どもたちの姿に、ご家庭でもたくさんほめられたのだと思いました。自分のよさ、頑張ったことをきちんと認めてもらえることは大きな自信につながります。

4月に向けて、4歳児は2月から誕生会の司会を任せられ、飼育物の世話や園庭パトロールなどの当番活動を5歳児から教えてもらっています。また、3歳児も5歳児のお店屋さんを誘ってもらったり、園庭でドッジボールやドッジけんをする様子を見たりして、遊びの中での引き継ぎも見られます。5歳児は、小学校に行って1年生に展示会を案内してもらったり、小学校生活を見学・体験させてもらったりしました。また、5年生とは一緒に遊び、次に小学校で1年生と6年生として出会うことへの期待をもちました。

お父様方のご協力により新しく生まれ変わった園庭遊具『森のハウス』は、制作途中も様子を見ていた子どもたちが、できあがると早速、遊びの場として活用しています。この『森のハウス』も子どもたちの創造力が発揮され、友達との関わりを育む新しい遊びの基地となると思います。

修了式、終業式までの日々、子どもたちはまだまだ、幼稚園でいろいろな経験をします。嬉しさも切なさもあるかもしれませんが、一つ一つが心に刻まれる大切な宝物、喜びの種になるようにと思っています。胸を張って一つ階段を上る子どもたちの笑顔は、私たち大人の喜びです。

<生活発表会>



5歳児・劇遊び



4歳児・合奏



3歳児・歌



森のハウス

- 3 3歳児 ○友達や先生と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを表そうとする。
月 ○年長組とお別れすることを知り、親しみと感謝の気持ちをもつ。
指 ○大きくなった喜びを感じ、進級することに期待をもつ。
導 4歳児 ○自分なりの力を発揮しながら友達と関わり、様々な活動を楽しむ。
の ○年長組からの仕事の引き継ぎ、お別れ会の準備などに取り組む中で、年長組に感謝の気持ちを感じ、
ね 進級への期待をもつ。
ら 5歳児 ○友達と互いのよさを認め合い、つながりを感じながら遊びを進め、園生活を十分に楽しむ。
い ○修了に向けた活動に取り組む中で、自分たちの成長を実感し、小学校入学への期待をもつ。